

横市大同窓会“第72回浜大祭提供企画”

“World Yo-Yo Champion SHU TAKADA 驚愕のパフォーマンス”

2022.11.06 13:20~13:50 @カメラアホール

公演: SHU TAKADA =本名:高田柁さん(2021年卒)

司会: 飯田 峰子さん(2002年卒)

金子会長の挨拶「皆さんで連携を広げていきましょう！」

小山内理事長からお祝いのメッセージをいただきました！



【SHU TAKADA】

- ・静岡県浜松市出身(26歳)
- ・横浜市立大学国際総合科学部 身体科学コース (2021年卒)
- ・ヨーヨーアーティスト

ヨーヨーパフォーマンス“犬の散歩”などでヨーヨー遊びを披露した後、ご自身の自己紹介とヨーヨーの起源、「アーティストとして働くとは？」などについてパウポで説明。「ここ(カメラア)では授業を受けていたんですが、今日は授業をする側にいますね」などと冗談を言いながら、6回の世界チャンピオンの経験について話され、また今年のアメリカのオーディション番組 AGT(America's Got Talent)で準決勝進出を果たされた時のことは少し興奮気味に話されました。番組を観た人には一緒にその興奮を感じることができたのではないのでしょうか。



笑顔を絶やさず会場にハッピーな空気の渦を作って、いよいよリアル“驚愕のパフォーマンス”をご披露！
凄い速さでヨーヨーの糸を操り演技、2本の糸が絡まらないのが誰の目にも不思議!!!



カメラが捉えられない瞬間の連続！バク転しながらのヨーヨーには会場大拍手！糸が「なんで絡まらないの??」という早業の連続でした！「高田さんの指が見たかった」との声も。目の前で繰り広げられた驚愕の超高速なパフォーマンス!!! 本物の動きはこちらから↓↓

<http://www.shutakada.com/2022/06/01/agt>

【参加者からのコメント①】

ショーを観られた卒業生の方からfb<横市大同窓会公開G>にこんなコメントを寄せていただきました。浜大祭実行委員を経験していた方だからこそそのコメントでしょう。少し長いですが、3年ぶりの浜大祭をよく表現していただいたと、感謝し共有させていただきます。

「2002年に国際文化学部日本アジア文化学科を卒業した山田剛也と申します。山田俊治先生のゼミに所属して日本近現代文学を専攻していました(妻も歳は四つ離れてますが、同じゼミ出身です)。在学中4年間学

祭の実行委員会をやっていたこともあり、この時期になると銀杏並木の香りが恋しくなり、しばしば母校に足が向いてしまいます。

コロナ禍の影響で学祭はしばらく開催されませんでした。3年ぶりの開催となる今回は、今回のスタッフたちは何と皆、学祭未経験者とのこと。

現在の社会情勢を鑑みながらの当世風の工夫(特に、ステージ企画や花火のオンライン配信など)が色々凝らされていたのには驚きました。人を集めないと始まらないが、集め過ぎないようにも工夫しないとならないというジレンマの中、素晴らしいと思います。

個人的に特に面白かったのは、市大OBのヨーヨー世界チャンピオンであるSHU TAKADAさんの企画。ぼく自身が人の身体を治療したり、パフォーマンスを高めたりする仕事をしているため、その圧倒的なヨーヨーさばきとダンスの融合には震えました(※動画は撮影不可とのことでしたので写真のみです)。

質疑応答のコーナーで、「いったいどんな感覚に集中して演技をしているのか」というぼくの質問に対して、TAKADAさんは、「身体でしっかり覚えるところまで持っていくので、意識としてはお客さんの反応のほうに集中している。よほど難しい演技の場合には指先の感覚に細かく集中することもあるが、いわゆるゾーン状態に入ると、次の晩ごはんのこととか考えたりすることもある」……という、開いた口が塞がらなくなるような答え。世界チャンピオンというのはこんなとてつもない領域にいる生きものなのか、と思いました。

企画が終わってステージに向かうとちょうど大道芸サークルの演技もあり、連れていった七歳児&三歳児も喜んでいました。ストラックアウト、スーパーボールづくり、鉄道模型、天体望遠鏡の操作などで子どもたちを遊ばせつつ、懐かしの旧校舎中庭や図書館も散歩して、心地よい時間でした。(後略)

【参加者からのコメント②】

また、ショーをご覧になったある先生は金子会長との出会い頭に、「あのヨーヨーの企画はホームカミングデーらしくて良かったですね!」との声。

(卒業生によるヨーヨーパフォーマンス企画は“浜大祭提供企画”として生きた!と、実感しました。)

【浜大祭実行委員長からのメッセージ】

「第72回浜大祭では、様々な方面からご協力いただき、支えていただき、ありがとうございました。無事2日間とも閉幕することができました。高田さんの企画など、進交会とも企画を行ってより魅力的な浜大祭になったのではないかと感じています。今後も様々ご協力を賜るかと思いますが、何卒よろしくお願いたします。」

【お手伝いに感謝】

今回は大学のボランティア支援室から4人の学生さんにご協力いただくことになりました。

その他、同窓会の多くの皆さまにお手伝いいただきまして、心配された大変なことも全く大変ではなくなり、心より感謝しています。ありがとうございました。



2022.11.08
横市大同窓会
事務局 西尾